

平成23年度 シラバス	学年・期間・区分	3年次・通年・必修	
	対象学科・専攻	留学生	
日本語 (Japanese language)	担当教員	古川 理沙 (Furukawa, Risa)	
	教員室	学生共通棟 1 階非常勤講師控室	
	E-Mail		
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義 / 履修単位 / 1単位		
週あたりの学習時間と回数	授業 (50分) × 30回		
〔本科目の位置付け〕 前期の内容は、日本人との円滑な人間関係を築く上に不可欠であり、後期の内容は、すべての講義のレポートを作成する さいの基礎となる。			
〔学習上の留意点〕 講義の内容をよく理解するために、毎回、復習をすること。理解状況を把握するために、前期は単元ごとの小テスト、後 期は文法練習や作文の宿題を課す。			
〔本科目の位置付け〕 前期の内容は、日本人との円滑な人間関係を築く上に不可欠であり、後期の内容は、すべての講義のレポートを作成する さいの基礎となる。			
〔授業の内容〕			
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
1. 依頼の表現	4	依頼の文型を理解し、運用できる	各授業内容について、教科書や文献・インターネットを使って、概略を勉強しておく。
2. 誘う・受ける表現	4	誘う・受ける表現を理解し、運用できる	
3. 誘う・断る表現	2	ていねいな断り方ができる	
4. 許可を求める表現	3	許可を求める文型を理解し、運用できる	
5. 伝言の表現	2	伝言の文型を理解し、運用できる	
6. レポートに使われる文体	1	話し言葉との文体の違いを理解し、使い分け ができる	
7. 文の基本	4	明快な文を書くために必要な基本が理解で きる	
8. 句読点の打ち方	1	句読点の種類、打ち方、役割が理解できる	
9. 段落構成	2	文章の論理的な構成が理解できる	
10. 仕組みの説明	2	仕組の説明に使われる文型・表現を理解し、 運用できる	
11. 分類	2	分類に使われる文型・表現を理解し、運用で きる	
12. 定義	1	定義に使われる文型・表現を理解し、運用で きる	
13. 比較・対照	2	比較・対照に使われる文型・表現を理解し、 運用できる	

〔教科書〕『現代日本語コース1』名古屋大学出版会

『改訂版 留学生のための論理的な文章の書き方』スリーエーネットワーク

〔参考書・補助教材〕『大学・大学院留学生の日本語 4 論文作成編』アルク

〔成績評価の基準〕＜前期＞平常テスト（１００％）-授業態度（最大１０％）

＜後期＞レポート・宿題（１００％）-授業態度（最大１０％）

〔本科（準学士課程）の学習教育目標との関連〕 1-a, 2-a

〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕

〔JABEEとの関連〕

メモ欄

[illegible]